

もみじ福祉会 ニュース



2024年5月第97号

発行/  社会福祉法人もみじ福祉会
 MOMIJI
 第一・第二もみじ作業所(生介) 第三もみじ作業所(就継B)
 福祉ホーム 夢トピア/ハッピーホーム
 グループホーム たんぽぽ/夢トピア/ドリームハウス/
 ハッピーホーム/きらきら
 もみじヘルパーステーション 夢トピア
 障害者生活支援センター めーぶる
 放課後対策事業 のびのび・わくわく
 〒730-0823 広島市中区吉島西 2-1-24
 TEL:082-243-0331 FAX:082-243-0497
 HP:fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

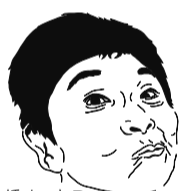
1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

恋に仕事に遊びに歌に…。いつもそばに仲間がいた。

やっぱり自立したい! 夢トピア20周年



みんなで歩んだ20年。
この春、夢トピアは成人を迎えました。


 あの頃、みんな若かった。念願の夢トピアが設立して喜びと期待と不安でいっぱいだったな。月日が流れ20年。親も高齢になり介護が難しくなってくるし、仲間も障害が重くなり病院通いが多くなってきました。
 私は夢トピアでできて本当に良かったと思います。毎日作業所で仕事して、お風呂に入って、おやつやご飯を食べ、パソコンしたり、好きなテレビ見たり、ヘルパーさんと話したり…。当たり前前の生活ができる幸せを感じています。
 私はいろいろな人に支えられ生きてきました。人とのふれあい、かかわりやつながりが私の宝物です。先のことはわからないけど、みんなが安心して暮らせる夢トピアであってほしいと思います。
 私も体に気をつけて1日でも長く夢トピアにいられるようにがんばって生きていきたいです。

橋本 幸子さん


出会いや別れ、楽しいことも辛いことも、全てがここにありました。夢トピア20年の節目に寄せた、仲間と職員の声をお届けします。

夢トピア20周年を迎えて
 「自立して地域で自分らしく生きたい」「親に負担をかけず、もみじ作業所で仲間と一緒に働きたい」という仲間の思いや願いのこもった夢トピア。今年3月1日で設立20周年を迎えました。
 10周年のお祝いをしてから10年の月日が経ったのかと思うとあっという間に感じますが、たくさんの変化がありました。親の高齢化、仲間の重度化など、さまざまな理由で家に帰れなくなった仲間も増え、ホームの365日開所が当たり前になりました。気が付けば5人だった車いす利用者も今では10人に増えました。
 また、2020年には新型コロナウイルスが流行したことによって、これまでの生活が一変する事態となりました。当たり前前にあったこれまでの生活やおでかけも制限され、楽しみにしていたBQやクリスマス忘年会、地域行事の盆踊りや秋祭りなどの行事も延期されました。同じホームで暮らしているのに顔を合わせて話すのが久しぶりになることもありました。
 2022年には開所当初からずっと夢トピアで生活していた仲間の小

坂泰嗣さんが亡くなり、仲間はもちろん、これまで携わってきた全ての人が衝撃を受け、悲しみにくれました。
 コロナ禍が落ち着いてからは、地域の行事も徐々に再開され始め、盆踊りや秋祭りの神輿、とんど祭りなど参加できるようになりました。夢フェスティバルも小規模ではありましたが開催することができました。参加した仲間の楽しそうな様子や、「久しぶり」と声をかけてくれた近所の方を見て、繋がりを改めて感じ、地域の一人として盛り上げることができたのかなと感じました。
 出会いと別れの繰り返しの中で、2023年5月にはグループホームきらきらから東田健太さんが夢トピアの仲間に加わり、また一段とにぎやかなホームになりました。新しい節目となる20周年を振り返り、改めて仲間の気持ちに寄り添いながら、これからも仲間が安心して暮らせるホームになるよう頑張りたいです。
 夢トピア主任 橋本愛美



暮らしを積み重ねて20年!


 夢トピアで暮らし始めて20年。始めはヘルパーが少なく困った時もありました。それでも、和気あいあいと楽しく暮らして、日曜日には一緒に映画に行こうと話していました。昔は今より小回りがききました。ヘルパーが減っては増えてを繰り返しながら…。新しい人が来るのは嬉しいけれど、別れも多くて、やっぱりそれが一番辛かったです。
 ホームの行事は、始めは有志の声かけでやっていました。僕はクリスマス会やBBQは早く恒例の企画になってほしいと思ってました。今は定例化されて嬉しいです。僕の部屋はTVが当たり前に見えます。カーテン開閉や照明の操作など、去年からリモコンで全部でき快適になりました。
 最後に、これからも夢トピアを中心に、地域の人や学生さんともっともっとつながりを増やしていきたいです。

伊世 伸一さん

2024年度入職式

2024.4.1

今年度、新たに5人の職員がもみじ福祉会に加わりました。それぞれが、これまでの経験を活かし、新しい風を吹き込んでくれることでしょう。一緒に頑張っていきましょうね!



株式会社アーバンリサーチ THE GOODLAND MARKET
下間祥子さん

優しいつながりが広がっていく中心に



https://note.com/kon_2/n/n953fb090465b



株式会社URテラス【前編】
代表 萩原佳子さん・マネージャー 中西清佳さん

信じて任せる



https://note.com/kon_2/n/n6d3bb1ecef79



株式会社URテラス【後編】
木曾将士さん

挑戦できる、でも、困ったときには支えてくれる



https://note.com/kon_2/n/n3529fb6fc393



こんにちは。もみじ作業所の皆さんにはいつも大変お世話になっております！KONKONのスタッフ、岩下千帆里です。

2021年9月から、もみじ作業所を縫製グループの仲間が制作するテント生地の商品を、株式会社アーバンリサーチのブランドの一つ、「GOODLAND MARKET 堀江店（以下、TGM）」で取り扱いいただいています。KONKONは「卸し」という立場で、お取引が円滑に進むよう、奔走しております。

広島でも根強い人気のあるテント商品は、大阪TGMでも大人気！

TGMスタッフや来店するお客様の間では、リーダーも多く、もみじファン“なんて言葉もあるのだそう。広島から飛び出て、遠方大阪でも”もみじファン“が増え続けているのはなぜでしょうか。

Instagramという情報の海から「めっちゃかわい

い！」と、テントを見つけてくれたのはTGMスタッフの下間祥子さん。下間さんが商品をお取り扱いするときに大切にしていることは、実は「めっちゃかわいい！」だけではなく、商品の裏にあるストーリー“なのだそう！店頭にある商品に馳せる思いを取材しました！

TGMには店舗だけではなく、バックオフィスで支えるメンバーがいます。それが株式会社アーバンリサーチの特例子会社、株式会社URテラスの一員である木曾将士さんです。（特例子会社とは、簡単に言うと、障害者雇用を促進するために設立した子会社のこと）URテラスで活躍中の木曾さんをはじめ、仲間の業務をサポートする業務管理者の中西清佳さん、代表の萩原佳子さんのお話を聞いてきました。

ぜひ、大阪に行ったような気持ちでお読みください。



一人でも多くのお客さまに「こんこん」と気軽にノックしてもらえますように。



Online Shop & Gallery こんこん

福祉事業所などで作られるアートな作品をオンラインで展示販売されているKONKONさん。もみじ作業所もいつもお世話になってます。

テント商品で”もみじファン”の輪を広げる人たち

株式会社アーバンリサーチ THE GOODLAND MARKET
株式会社URテラス（株式会社アーバンリサーチの特例子会社）



KONKON 岩下

発達診断研修

日時：2024年3月2日（土）8:45~17:00
場所：第一・第二もみじ作業所

発達診断研修を受けて

今年度も、特定非営利活動法人まなびやより葛城妙子先生を講師としてお招きし、発達診断研修が行われました。もみじ福祉会が大切にしている理念である「発達保障」。毎年の研修では仲間の発達について学び、それを基に日々の支援について職員集団で多方面から考えることが出来る貴重な機会となっています。

研修に向けて、事前にもみじ作業所から2名の仲間の発達診断を葛城先生に実施して頂き、その結果を受け当日の検討を行いました。

まずは葛城先生による講義「なぜ発達を学ぶのか」を受けました。発達を知る

ということは本人目線での「本人理解」をするということ。多方面から仲間を見て本人理解をすることの重要性について今回も学ばせて頂きました。また、発達のしくみについても詳しく説明して頂き、毎回知識を深めることが出来ています。

次に仲間のケース報告と発達検査の解説が行われました。仲間の持っている力、育とうとしている力について丁寧に解説して頂きました。私が報告させて頂いた仲間も支援者や集団の中での取り組みでさらに力を付けることが出来る時期にある、ということを知ることが出来ました。

今回の研修でも、葛城先生からの報告、職員同士の意見交換によって仲間の事を支援者みんなで考える事ができました。支援者として現在に満足することなく、仲間の豊かな人生のために日々の支援を見直し、新たな方向性を持って今後の支援に携わっていきたくです。

第三もみじ作業所 門脇恵美

2023年度 安居楽業ゼミナール

輝くいのちを 世の光に
～「意思決定支援」わたしたちのねがい
わたしたちのくらし～
日時 2024年2月16日・17日
会場 東京都生協連会館 3階会議室

安居楽業ゼミナールに参加して

安居は安心して暮らしているさま、楽業は仕事を楽しんでいるさまを指し、世の中が平穏で生活も安定している事だそうです。意思決定をテーマに、障害がある方たちの「安居楽業」のためには何が必要かを、様々な視点から深めていく研修でした。

知的障害のある方が乗り越えた結婚、出産、第二子の墮胎について、重度障害の方が通う施設での絵画の取り組みなど、紹介される事例には、当事者の方を深く理解しようとし、真剣に寄り添う支援者の存在がありました。ご自身の暮らしに

ついて講演された精神障害のある方が「相談できる人に恵まれていた」と話しておられたのも印象的でした。

仲間が意思決定する場面で良き支援者であるためには何が必要か。初日の講座で立命館大学の田村和宏先生が紹介された「本人さんはどう思っているんやろ」という言葉は、葛木先生の発達診断研修でも引用された、びわこ学園初代施設長である岡崎英彦先生の言葉です。これは、意思決定や承認や同意という手続きを、簡単に本人不在にしているか、職員の独りよがりになっていないかという問いかけでもあります。この人なら自分の気持ちを分かってくれと実感してもらえる支援者になる事で、仲間の意思決定が充実したものになれば良いと思います。

第一もみじ作業所 大迫 純子





美味しいにおいでいっぱい! 【クッキー型抜き体験】

観音にある第三もみじ作業所には3つのグループがあります。その中で最も歴史があるのがクッキーグループです。国産小麦にこだわった商品にはファンも多く、たくさんの方に愛されています。

3月29日(金)、こねこね工房で【クッキーの型抜き体験】を開催しました。久しぶりに外部の方を招いてのイベント。どれくらい参加があるのか未知数でした。

当日はTV局の取材が入る中、

3組のご家族に楽しんでいただくことができました。生地を伸ばして、型を抜いていく。仲間たちが小さな子供さんにもわかりやすく言葉をかけていきます。優しく、丁寧に。それは、日頃の仕事で見せる姿とは一味違った、人生の先輩としての姿でした。とても素敵でした。

こねこね工房では、これからも定期的なイベントなどを通して、地域に仲間の魅力を発信していきます。次回の企画をお楽しみに。



LECTTへGOO!
1年前に仲間から「おいしいものを食べたい」「水族館に行きたい」「みんなとでかきたい」という思いを聞き取り、実現に向けて取り組んできました。3月20日(水・祝)本来ならマリナーホップへ行く予定だったのですがあいにくの雨!!当日の朝まで粘りましたが急ぎよ行き先をLECTTへ変更することにしました。急な変更に残念な思いもありましたが、普段行かないLECTTも楽しみななったように朝からソワソワ、ワクワクが伝わってきました。

作業所のバスを2台借り、雨の中往復でいざLECTTへ!フードコートで食べたい料理を選び仲間と職員と囲んで食べました。あ



そんな様子と、それをみんなで見ることができて嬉しかったです。改善できるところはしていきたい、来年もみんなと過ごせるよう取り組みたいと思います。
橋本愛美

今回は休日のおでかけのようすです♪

vol.7 momiji

いつつ屋根の下

Sanjogo yume tobia dream house happy home korakon

new!!
ホームの新連載
もみじ福祉社にある5つのホーム。このコーナーでは仲間たちの日々の様子を紹介していきます。

行事日誌

- 12月 2日(土) 第三もみじ 人権学習会
中堅職員研修
ハラスメント防止研修
3日(日) レクトバザー
4日(月) 市立特別支援学校保護者 第三もみじ作業所見学
6日(水) 新任職員研修⑦
8日(金) 袋町小学校車いす体験講師
がんばるデイ(街頭署名活動)
NTTウエス材料授与式
10日(日) 第一・第二もみじ作業所全館書虫駆除
15日(金) 千田小学校車いす体験講師
16日(土) 第三もみじ作業所クリスマス会
19日(火) 中区西区障害者虐待防止研修
21日(木) 第一・第二もみじ作業所クリスマス会
22日(金) 100歳体操クリスマスパーティー
25日(月) 市立特別支援学校販売
27日(水) 第一・第二もみじ作業所ボーナス支給式、納会
(き)全国事務担当者つながるチャンネル(オンライン)
第三もみじ作業所 納会
- 1月 5日(金) 第一・第二もみじ作業所 もちつき 互礼会
第三もみじ作業所 初詣
6日(土) 第三もみじ作業所 新年会
7日(日) 中島地区ふれあいとんど祭り
10日(水) 新任職員研修⑧
11日(木) 第一第二もみじ作業所垂直避難訓練
14日(日) 観音新町地域とんどまつり
18日(木)~2/2 広島国際医療福祉専門学校実習受け入れ
20日(土) 第三もみじ作業所 クラブ活動
虐待防止研修
22日(月) 中堅職員研修他法人見学①
24日(水) 広島国際大学実習懇談会
25日(木) 第一・第二もみじ作業所 クラブ活動
26日(金)~27日(土) (き)経営管理者総合研修会
29日(月) 中堅職員研修他事業所実習②
中島小学校講師
- 2月 3日(土) 第三もみじ作業所 クラブ活動発表会
5日(月) 第149回理事会
5日(月)~7日(水) 家庭裁判所ボランティア実習
6日(火) 第一・第二もみじ作業所 仲間健診①
市役所販売
7日(水) 新任職員研修⑨
8日(木)~9日(金) (き)全国利用者部会利用者学習交流会
10日(土) 西区社協もちつき交流会
11日(日) マーガレットコンサート
吉島町内会もちつき大会
13日(火) 第一・第二もみじ作業所 仲間健診②
めーぶる実地指導
16日(金)~17日(土) (き)安居楽業ゼミナール
20日(火) 第一・第二もみじ作業所 仲間健診③
21日(水)~3/6(水) 広島文化学園短期大学実習受け入れ
(き)事務オンライン研修
22日(木) 第一・第二もみじ作業所 健康推進学習会
26日(月)~3/1(金) 第一・第二もみじ作業所 ボウリング大会
27日(火) 西区しごと部会「メンタルケア研修会」
29日(木) (き)未来カフェ
- 3月 2日(土) 発達診断研修
5日(火) 第三もみじ作業所 仲間健診①
第一・第二もみじ作業所 吉島小学校交流会
6日(水) 新任職員研修
8日(金) ふんばるデイ(街頭署名活動)
9日(土) 無印良品販売
12日(火) 第三もみじ作業所 仲間健診②
12日(火)~13日(水) 矯正研修所福祉体験実習受け入れ
15日(金) 中堅職員研修
16日(土) 第三もみじ作業所 年度末発表会
18日(月) 第150回理事会
23日(土) ラグビーバザー
27日(水) 年度末評議員会
28日(木) 第一・第二もみじ作業所 年度末発表会
29日(金) 第三もみじ作業所 クッキー型抜き体験



きゅうしょく ミラノ風ドリア

【材料】(1人分)
タマネギ...1/4(50g) みじん切り
ニンニク...1かけ みじん切り
合い挽き肉...60g コンソメ★...小さじ1と2/3
塩・コショウ...適宜 塩...1つまみ
オリーブオイル...小さじ1 ピザ用チーズ...30g
トマトジュース...100ml
ケチャップ...大さじ1
コンソメ☆...小さじ1/2
バター...10g
ご飯...150g
薄力粉...大さじ1
牛乳...250ml

【作り方】
①塩コショウした合い挽き肉をオリーブオイルで炒め、ニンニク、タマネギを入れて炒める。トマトジュース、ケチャップ、コンソメ☆を入れ煮詰める。
②バターでご飯を炒め、薄力粉を入れて炒める。牛乳、コンソメ★と塩を入れ、強火でとろみが強くなるまで煮詰める。耐熱皿にうつし、①をかけ、ピザチーズを散らし、トースターで6分焼く。

5月新作Tシャツ発売予定。

初の3人のコラボTシャツ!

絵画教室を開催し、それぞれの3人の絵を見て合わせて、コラボでいこうと決めました。
「ビーチであの子とサマーバケーション!」
今夏あなたもこのTシャツを着て思い出をつくろう!

令和6年度 障害福祉サービス等報酬改定の動向について

厚生労働省は2月6日(火)、「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定における主な改定内容」と、「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の概要(案)」、「障害福祉サービス費の報酬算定構造(案)」を公表し、約1か月間のパブリックコメント募集後、3月29日(金)に、新年度の障害福祉サービス等報酬改定の「解釈通知」や「Q&A」などを公表しました。

報酬改定検討チームで検討されている内容が聞こえてくるたびに、厳しい内容になるのではないかと予想はしていましたが、その内容は予想のさらに斜め上を行く、多くの問題を含んだものでした。

○報酬改定の主な特徴

中でも大きな影響を受ける事業の一つが、「生活介護事業」で、これまで生活介護事業の基本報酬は利用定員規模、開所時間をもとに障害支援区分ごとに1日あたりの額が設定されていましたが、「この度」利用者ごとのサービス提供の実態に応じた報酬体系とするため、基本報酬の設定については、障害支援区分ごと及び利用定員規模に加え、サービス提供時間別に細やかに設定する」とし、日割り払い

制度から、「時間払い制度」に変わることになりました。改定後は、1時間刻みの報酬区分が導入され、1日7〜8時間受け入れた場合で現行とほぼ同額の報酬、受け入れ時間が5〜6時間では約3割の報酬減が見込まれます。

「仲間(利用者)が休むと報酬が事業所に入らず、運営が安定しないため、せめて人件費等に当たる固定費部分については定額報酬としてほしい」ときようさんをはじめ、諸団体が要望していたにもかかわらず、日割りはおろか時間に応じた報酬設定になる上、基本報酬は軒並み減額という実態に愕然としました。

厚生労働省は、様々な加算を積み重ねていくことで補うことが出来ると言っていますが、ただでさえ職員体制が厳しい中、加算を受けるための要件を満たす余裕もなく、受けたとしても事務量が膨大になることで現場への負担がさらに増えることが予想され、規模が小さい事業所ほど不利な状況であると言えます。単純に基本報酬を上げてくれ、と声を大にして言いたい。

○成果主義と二分的評価

「就労継続支援B型事業」は今までよりもさらに成果主義が色濃く打ち出された報酬体系になりました。

厚生労働省は「工賃の更なる向上のため、平均工賃月額に応じた報酬体系について、平均工賃月額が高い区分の基本報酬の単価を引き上げ、低い区分の基本報酬の単価を引き下げ」として、平均工賃で月15,000円未満の基本報酬が減額されました。B型事業は、障害支援区分に関わらず通うことが出来るため、これまで様々なニーズをもつ仲間(利用者)を受け入れてきました。今もまた高齢化、障害の重度化が進む中で、職員体制が厳しくても1人ひとりにあった仕事内容、取り組みを作るため奮闘しています。

平均工賃が15,000円前後の多くのB型事業所は、障害の重い方や高齢の方など、より多くの支援を必要とする仲間(利用者)を受け入れている実態もあり、歯がゆさ激しい報酬改定になってしまいました。

もちろん工賃は高いに越したことはありません。バリバリと働き、たくさんの方を雇用したいと思う仲間(利用者)にとっても、高齢化、障害の重度化が進み、思うように体が動かずとも、やわらかい関係の中で生きがいを持って誰かの役に立ちたい、と思いはたらく仲間(利用者)にとっても作業所は大事ななじぶんの居場所には違いないありません。工賃の高低が一つの絶対的な基準であり、より高い工賃を支払うことが出来た事業所を「評価」する、出来ない事業所は評価に値しない…そんなふうにならざるを得ない気がしてなりません。

新年度になっても終わりの見えな「物価高騰」、常に「職員不足」の中でなんとか日々の支援にあたっている現状に追い打ちをかけるような今回の報酬改定。仲間(利用者)の高齢化、障害の重度化はまったなしで進みます。よりきめ細やかな支援が必要になる仲間(利用者)の生活、日常を守るためにも、声を上げ続けていかなければなりません。

輝け！ニューフェイス



七寶 允嘉さん

以前は工場で働いていましたが、親の介護の問題もあり、介護士として働くことを決めました。

ただ介護の世界は右も左も分かっておらず、皆さんにご迷惑をおかけします。が、頑張るを心情に働くつもりですので、よろしくお願ひします。



森本 一裕さん

はじめまして。1月よりハッピーホームで勤務しています。森本と申します。

皆さんと仲良くなれたらと思っております。よろしくお願ひします。カーブ好きなのでカーブのお話もできればと思っております。



藤岡 杏奈さん

4月1日から夢トピアで働かせていただく藤岡です。

私は江田島市出身で休みの日は家でアニメを見たり、友達とドライブに行ったりしています。まだまだ分からない事ばかりですが、先輩方や仲間から教えて頂きながら一生懸命頑張ります。これからよろしくお願ひします。



マーガレットコンサート がんばりました〜!!
第19回マーガレットコンサートが久しぶりの有観客で開催されました!

後援会会費納入者

- (2023年12月1日〜2024年3月31日)
 - 松末 和枝
 - 高畑 正直・優子
 - 村田 康昭
 - 寄本 克枝
- (敬称略)

寄付一覧

- (2023年12月1日〜2024年3月31日)
 - ヤマトナデシコ(匿名) 4件
 - 藤岡享子
 - ノートルダム清心中・高等学校 おひさまネット
 - 広島女学院メサイア委員会 作業所募金箱
 - 広島女学院中学高等学校
 - 広島YMCA保育園
- (敬称略)

物品寄付

- (2023年12月1日〜2024年3月31日)
 - 高美 直行 掃除機
- (敬称略)

「寄付ありがとうございました。」

無人島へ持って行きたい私の文化財



第三もみじ作業所 クッキーグループ 澤井 俊則さん

無人島に持って行きたい物を色々考えていると、あれもこれもとなって、最終的には何もなくていいんじゃないかな〜となりまして、それではここに書くことがなくなるので、無人島で読みたい本を持って行くことにしました。

その本は『ほくを探しに』という絵本。

就職したばかりのころに同期の子に薦められて読んだ本で、当時は絵本なんか子供の読むものだと思っていたから、薦められてしょうがなしに読んでみたって感じでしたが、読んでみて絵本のイメージが変わりました。

何が足りないと感じている主人公？が足りない部分を探しに行くという話で、大人になって読んだので色々考えさせられることがありましたが、これをお子さんが読んだらどう感じるのだろうかと思うと、絵本って面白いなあと思うようになったきっかけの本です。

無人島で時間はたくさんあるので、こういう本を見ながら、無人島での生活をどう過ごすかのんびり考えてみるのもいいかなあと思って、この本にしました。